

2022年度(第1期) 資材調達部会 活動報告

## 調達の困りごとを解決！

～CSR調達、開発購買、VE推進、  
インフレ対策、間接材他～

**配布のための抜粋版**

2023年3月6日

主査：谷口

 公益社団法人 日本バリュー・エンジニアリング協会

# 2022年度（第1期） 主な参加企業

## ◆2022年度（第1期） 主な参加企業、、、多彩 （OB含む、あいうえお順）

- 関西電力
- 高松建設
- トーヨーカネツ
- ニチレイフーズ
- パイオニア
- 日立建機
- 三菱重工業
- 横河電機
- 大正製薬
- TDK
- 東京電力ホールディングス
- 日本無機
- パナソニック
- 富士フイルム
- 三菱電機
- LIXIL

# 2022年度の活動方針は、どうだったか？

<調達の困りごとを解決（募集案内）>

- ◆スタート元年の今年は、みなさんからの困りごとをお伺いし、解決につながるような情報をお互いに交換することを計画・実施していきたい。（部会開始前に情報交換テーマを収集しチーム分け）
- ◆VEにこだわらず、調達の各種困りごとをとりあげる。（特色）
- ◆チームで取りまとめた内容を1月に発表していただく。
- ◆年度の終わりに、情報交換の結果の「気づき、その後のアクション」について各自、簡単に発表いただきたい。（パウポ1, 2枚程度）
- ◆各社のV E活用の様子も、アンケート調査したい。

# 2022年度の活動方法 その1

<応募の時に提出するプロフィール&テーマシートから>

1. 参加者の属性が豊か（相互啓発に最適）
2. 参加者の課題事項、要望事項が多岐に（キーワードからグルーピング）
3. 互いの違いを知って今後に生かす（キーワード・グルーピングによるチーム活動）

- ◆環境対応、カーボンニュートラル、スコープ3対応、サプライチェーンにおけるCSR調達、ESG課題、など ⇒ **CSR調達の取組み**（の現状と今後を語り合う）
- ◆国内調達、国際調達、横串調達、間接材購買、生産性向上、情報化、自動化、DX、組織体系、サプライヤー管理など ⇒ **調達機能強化の取組み**（の現状と今後を語り合う）、**最終的に開発購買にフォーカス**
- ◆VEの活用方法事例、VEの適用、VEの導入、VEの展開方法、取引先とのVE活動、開発購買など ⇒ **調達部門におけるVEの活用**（の現状と今後を語り合う）

# 2022年度の活動方法 その2

◆ 下記3つのテーマを中心としたチームに分かれて活動

◆ 各メンバーは、いろんな課題がお持ちなので、チームでの会議で、各テーマを中心にしつつ、会社からの課題など、必要度合いに応じ、チーム内議論のスケジュールを決定

Aチーム CSR調達の取り組み	Bチーム 調達機能強化	Cチーム 調達部門でのVE活用
★小林 信之	★谷口正洋	★渡邊 直樹
神戸 正志	川崎 光敏	角田 大翼
木澤 良美	佐々 松音	神原 充孝
坂田 博	根岸 陽康	木村 隆一
中村 洋一	渡部 豊和	小澤 肇
沼澤 朋子	水島洋之	渡邊 忠一
立木 智裕	平居 真之介	坂本 幸一
	佐藤 尚吾	
	瓦間 敬一	

# チーム活動の内容まとめ

## ◆ Aチーム：

C S R 調達について情報交換し、目的と手段がブレがちな、C S R 調達において、ぶれないように、機能系統図で、整理した。

## ◆ Bチーム：

開発購買について情報交換し、開発購買の7つの重要成功要因をまとめ、メンバー各社が、その7つのポイントで、開発購買をうまく進められているかどうか、分析した。この重要成功要因に基づく分析をローリングで実施すると、自社における開発購買の進化の状況が把握できる。

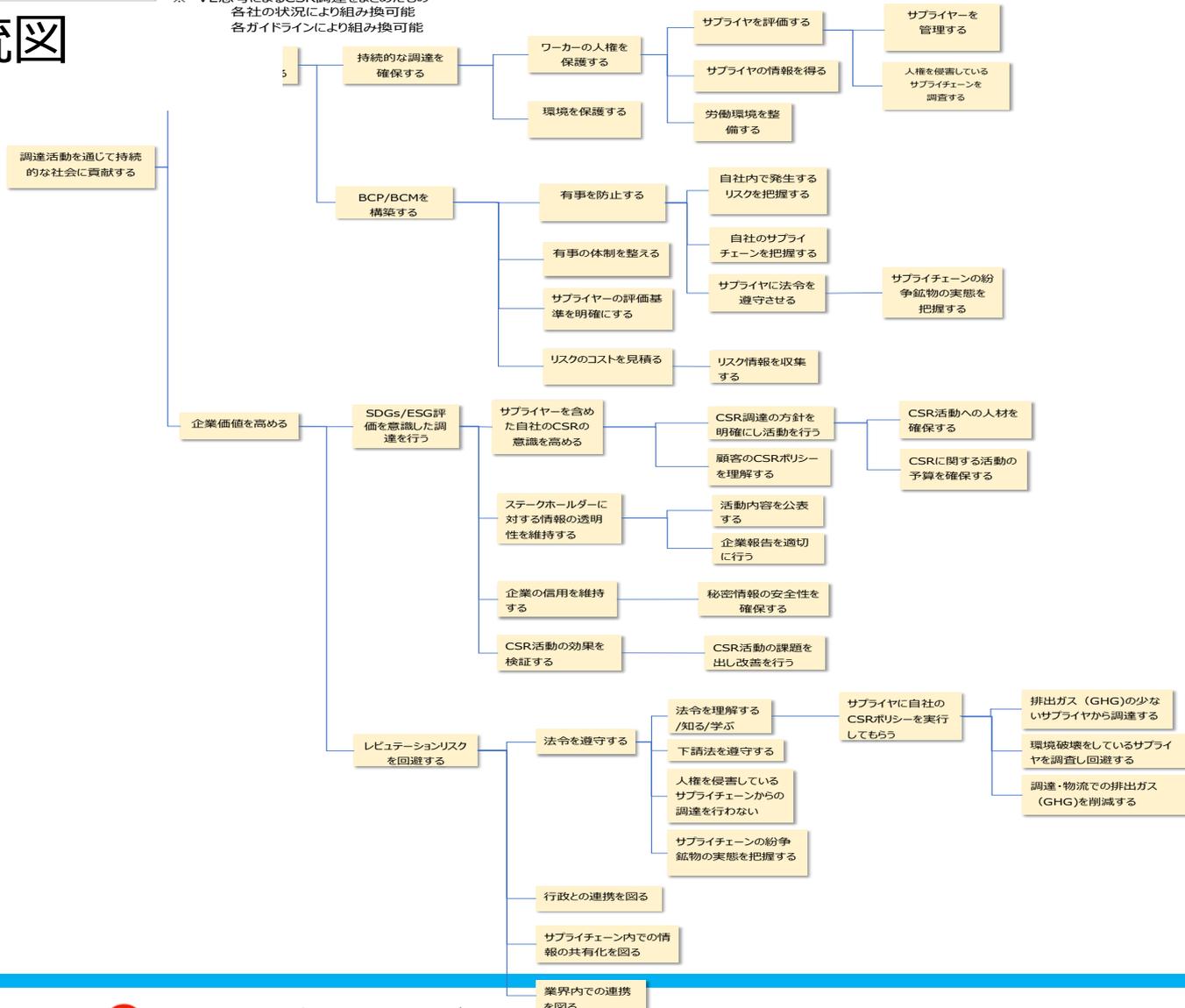
## ◆ Cチーム：

調達部門においてV Eをいかに促進させるかについて、情報交換し、そのポイントをまとめた。

# 【Aチーム】活動を通じた成果物 (全体)

## CSR調達機能システム図

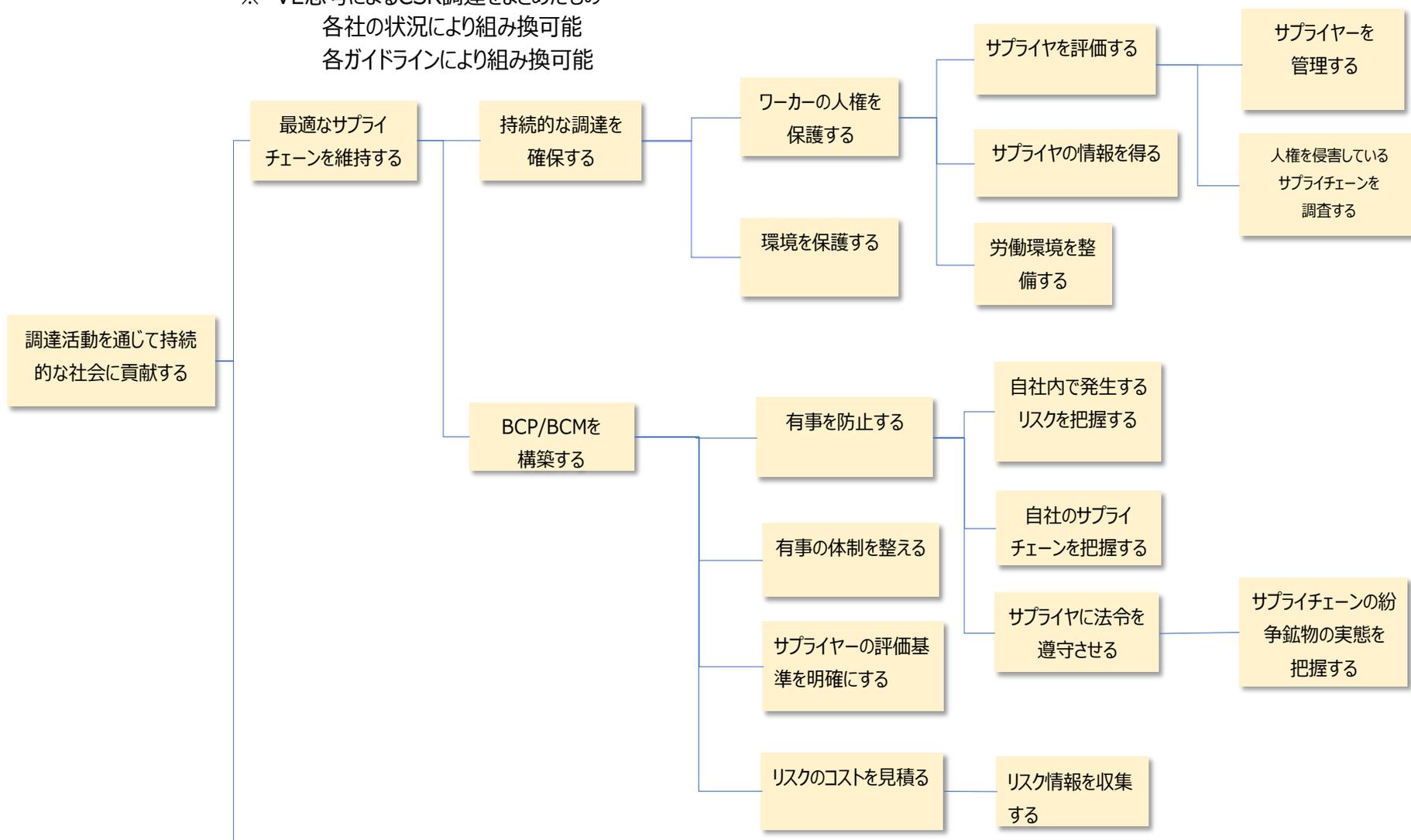
※ VE思考によるCSR調達をまとめたもの  
各社の状況により組み換え可能  
各ガイドラインにより組み換え可能



# 【Aチーム】CSR調達機能系統図

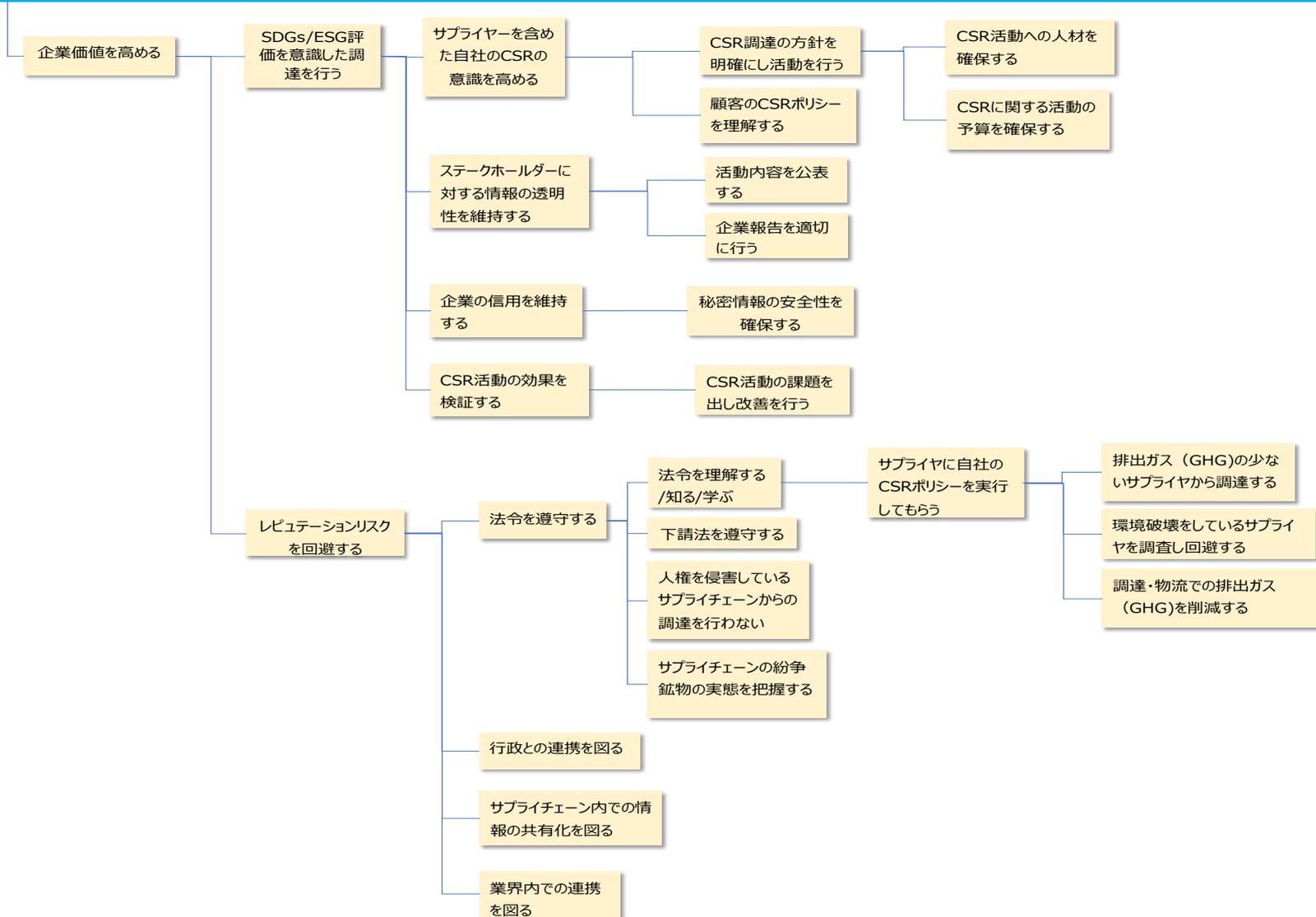
## 「最適なサプライチェーンを維持する」

※ VE思考によるCSR調達をまとめたもの  
各社の状況により組み換可能  
各ガイドラインにより組み換可能



# 【Aチーム】CSR調達機能系統図

## 「企業価値を高める」



# Aチームの総括

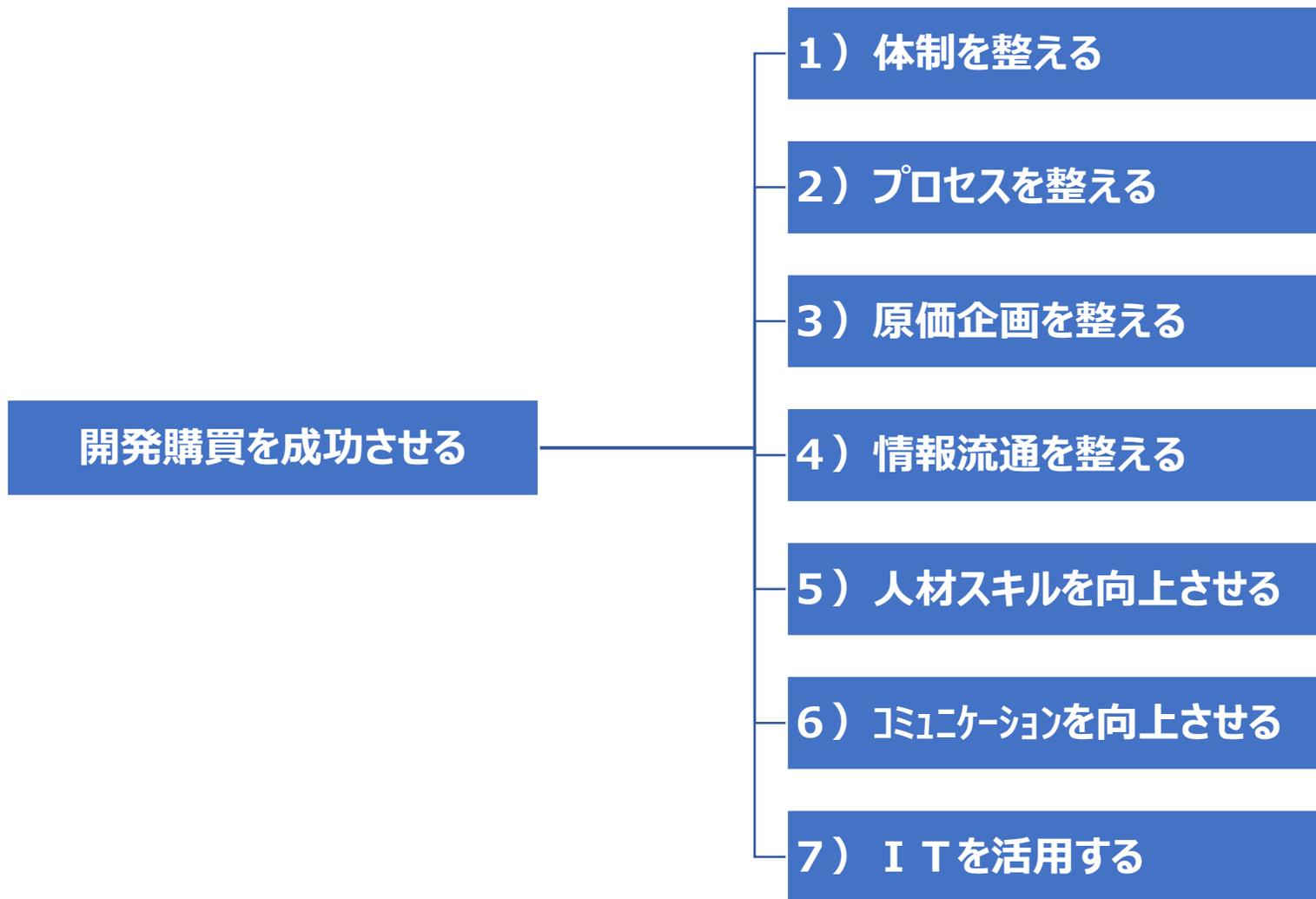
★まとめは、機能系統図だったが、CSR調達について、各社の悩みの共有と、現在の進捗度合いの情報の共有が、できた。

★ティア2以下まで、取り組めているか、などの実質的な情報交換も役に立った。

★実施した会社でないと知らない費用面の話や、スコープ3の話ができたことなども、情報交換の果実であった。

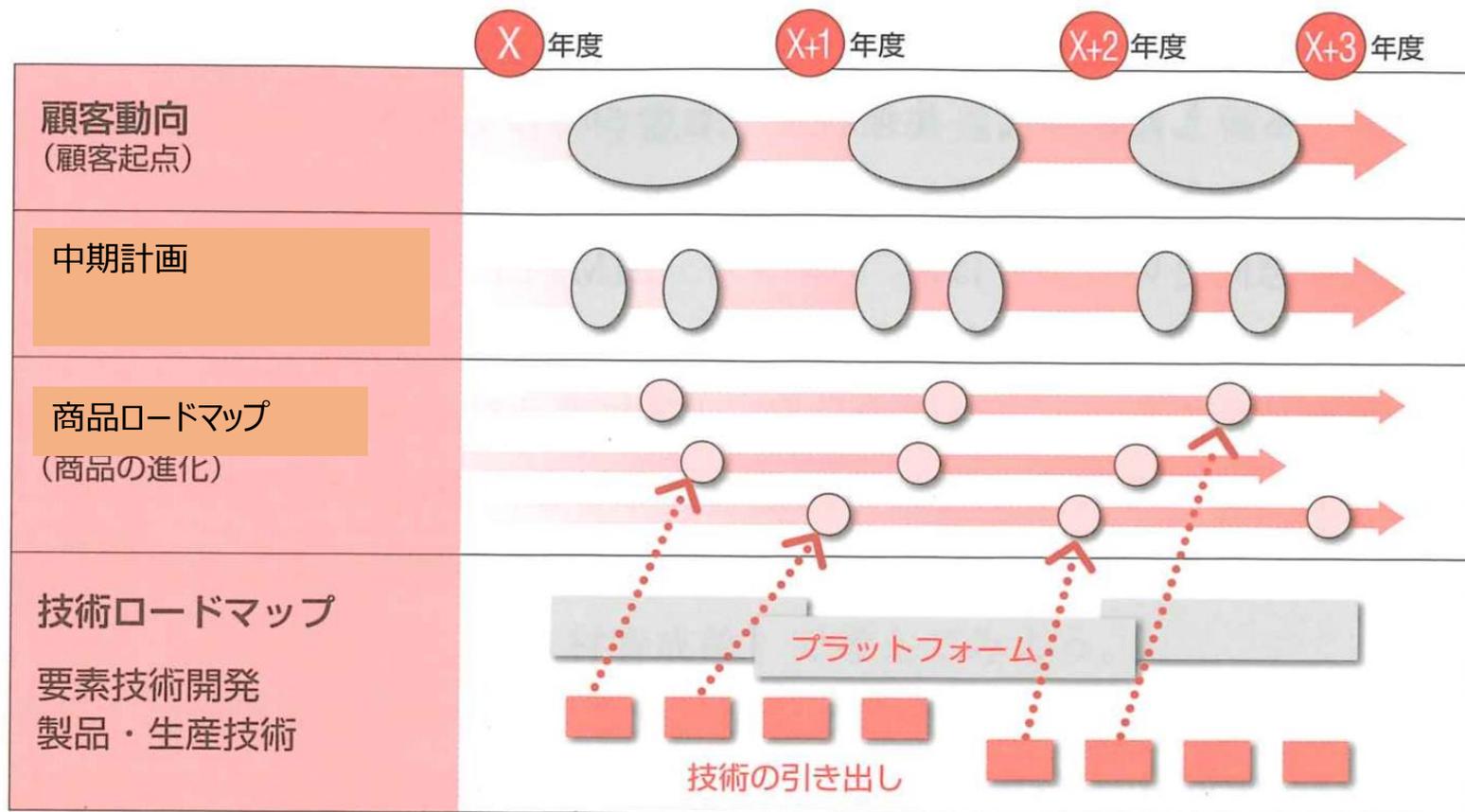
# 【Bチーム】開発購買の機能システム図

=> 7つの重要成功要因



# 【Bチーム】 1. 取り組み体制

例) 中期計画、商品RM、技術RMが三位一体で、、、



JMAのCPEテキストより引用



# 【Bチーム】議論のまとめ

- ◆開発購買の重要成功要因の項目で自社の調達部門を分析すると、属人的にはできていたり、限定された案件では開発購買を実施していたり、一部の事業部では実施できていたりする。
- ◆いかに、自社が、さらなるフロントローディングするか、さらに別事業にひろげるか、の勝負である。
- ◆また、各社の中で調達部門が弱いため、機能強化が必要というのが、共通の課題。
- ◆7つの重要成功要因の切り口で、ローリングで、自社の調達部門を分析することで、解決すべき課題がみつき、開発購買の範囲拡大や、深堀りにつながるというのが、チーム議論の結論であった

# 例) Bチームのチーム活動・議論の進め方

★各回、開発購買の自社課題や成功事例を持ち寄り、意見交換した結果として7つの重要成功要因KFSをピックアップした機能系統図に集約

★自社分析をして、改善ポイントを、各人が把握

★チーム活動としては、開発購買以外の、間接材調達、業務委託契約のコストダウン他、自社のかかえる問題について、もろもろ情報交換を実施(各メンバーが能動的に情報交換)

# 【Cチーム】「調達部門におけるVE活用」について 議論（情報交流・意見交換）した設問・項目

1. 調達部門が開発・技術部門と関係を構築するにはどうすればよいか？
2. 調達のレベルアップのために実施している具体事例と学び、気づき
3. 開発購買に必要なものは何か？
4. 開発購買にはスキル、組織能力だけでなく、『マインド』が必要！
5. 開発購買に 組織として 求められる取組み、仕組み
6. 調達部員としてVEは必要か？！
7. どうすればVEに馴染めるか？ どうすればVEを活用するようになるか？

# 【Cチーム】「調達部門におけるVE活用」の チーム活動の成果・成果物

- 胸襟を開いた意見交換で 参考になる点が多く、社内にも持ち帰ることができた
  - ✓ VE初心者も議論に入ることができた
  - ✓ 情報交流、意見交換の中で 悩み解消のヒント を得られた
  - ✓ 「調達の研修体系、スキル診断」や「調達部門内横断の相互啓発活動」、  
「購入先を巻き込んだVE活動の手引書」など具体的な事例で実感を得られた
- 開発購買について、スキル、組織能力、マインド、組織としての仕組みなど  
様々な観点で議論を行い、多くの気づきを得ることができた
- 本当に「困ったこと」「困りごと」を解決したいと真剣に考えていると  
「知らず知らずに」目的・機能に着目して達成手段を考えていることに気づいた
- サプライヤーに「改善提案」を求めるのではなく『困りごとはありませんか』  
と問い掛けることで 協働する環境や関係が築けるのではないかと気づいた
- 「知らず知らずに」から、「意識して」「VEを知った上で」VE手法を使える  
ようになれば なお良い！ と気づくことができた。やってみよう！と思う

# 各社のインフレ対策のアンケート実施

質問3 上記品目のコスト構成に関し、「原材料の何の価格が上がれば総額にどれだけ影響があるか」「賃金のアップが総額にどれだけ影響するか」を常時把握していますか？

コストの構成は、常時把握している	1	
取引先から値上げ要請があったときに、コスト構成を確認する	7	
その他 → 質問4にどのような状態であるかをご記入ください	3	

質問4 質問3で「その他」と回答した方にお尋ねします。上記以外にどのような対応をとっていますか？簡潔に記入してください。

- ・事業部、工場、製品など、状況によって異なっている。
- ・材料の種類により状況異なる。コスト構成把握できているものもあれば、値上り要請があった時にコスト構成を確認する材料もある。
- ・現状は、値上げの都度、コスト構成を確認しているが、そのコスト構成を一定期間ごとに確認するように変更したいと考えている。
- ・品目によっては常時把握しているが、化成品・薬品では詳細なコスト構成は開示されない場合が多い。

# 各社の間接材調達の実況のアンケート実施

質問9 あなたの会社では、間接材購買プロセスを支援する「購買管理システム」を導入していますか？

導入している⇒質問10へ	7	
導入していない⇒質問14へ	2	

質問10 質問9で「導入している」と回答した方にお尋ねします。貴社で活用しているシステム/提供会社はどれですか？あてはまるものすべてにチェックしてください。

SOLOEL/ソロエル	0	
Biznet SOLUTIONS/ビズネット	2	
べんりねっと/カウネット	0	
モノタロウ購買管理システム/MonotaRO	0	
楽々Procurement II/住友電工情報サービス	0	
OffSide/トライアンフ21	1	
Purchase One/SB C&S	0	
APMRO/アルファバーチャス	2	
ARIBA/SAP ARIBA	1	
自社開発システム	2	
その他⇒質問11へ	1	

# 各社調達部門のV Eの活用状況アンケート実施

質問9 あなたの会社の調達部門では、どのような改善手法を使っていますか？または推奨していますか？【いくつでも】

IE	2	
VE	9	
QC	4	
トヨタカイゼン	3	
その他（質問10にご記入をお願いします）	5	

質問10 質問9で「その他」と回答した方にお尋ねします。上記以外にどのような改善手法を使っていますか？または推奨していますか？

- ・購入量の削減、業者指定による共同購買
- ・調達履歴分析
- ・CR
- ・調達部門として、体系的な改善手法はありません。
- ・引き合い、まとめ程度で、管理技術を使うに至らず。

# メンバーの部会活動についての感想

- ◆ 資材調達に関わるメンバーの悩み事や困りごとは、業界問わず共通の課題だと認識できたし、改めて、資材調達部門の問題点や重要性を認識することができて、大変によかった。
- ◆ 参加メンバーが各自の問題をチームに持ち込んで発言し、同様な問題意識を持つ他の参加メンバーから、その問題について、ヒントになるような発言があるなど、ギブ&テイクで、大変勉強になった。
- ◆ 開発購買、VE、CSRのテーマにおいて、各社共通のもの、特色が出るもの、いろいろあって、ディスカッションしていて楽しかった。
- ◆ 自分が、同一企業で働いてきたので、他社の人と話してみても、考えが凝り固まっていることに気づいた。いろんな観点で物事を考えることは大切だと感じた。
- ◆ 各企業の取り組み状況を資料を交えて紹介してもらったので、非常にわかりやすかった。他社の取り組み事例を自社にとりいれることを検討したい。

# 宣伝

◆ Twitterアカ、作りましたので、フォローお願いします。

@shizai4U、、、資材 for you です。調達ネタで面白い情報を retweetします、、コンテナ船のバブル終了など、いずれタイムラインがDBになる予定、また、近日、このプロフに、部会のホームペもリンクさせます。

The screenshot shows a mobile browser view of a Twitter profile. The browser's address bar displays 'https://mobile.twitter.com/shizai4U'. The profile header includes a back arrow, the name '資材調達部会@VE協会', and '3件のツイート'. The profile picture is a blue circle with the text '資材調達'. The bio area features a blue banner with the text '調達の困りごとを解決！ 東日本支部 資材調達部会' and a list of services: '開発購買', 'CSR調達', 'VE推進', '間接材調達', and 'インフレ対策'. The account name and handle '@shizai4U' are visible at the bottom of the profile section. A 'プロフィールの編集' button is located in the bottom right of the profile area.

# 2023年度（第2期）の活動予定

## <調達の困りごとを解決>

- ◆当部会は、調達の実務経験がある方（企業OBを含む）、VE推進部門の方を対象に開催。
- ◆2年目の今年は、調達部門の抱える課題の選択肢から情報交換したいテーマを選んでいただくのと共に、その中に情報交換したい課題がない場合は自由記載していただき、課題意識や担当業務が近いメンバーで、リモート会議にあった規模のチームを編成して、情報を交換していただく。
- ◆VEにこだわらず、調達の各種困りごとをとりあげる。（特色）
- ◆2024年1月に、各チームからチーム活動の成果を報告していただく。
- ◆また、最終回の2024年2月に、チーム活動の結果の「気づき、その後のアクション」について各メンバーから、簡単に発表いただく。（パウポ1枚程度）
- ◆状況に応じてアンケート調査も実施したい。

# 2023年度のスケジュール表

◆年間スケジュールを手帳、スケジュールに転記して、できる限り、出席をお願いします

◆意見交換による気づきが重要です

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	会合時間
17日	14日	12日	23日	13日	4日	15日	20日	24日	14日	水曜日 15:00~17:00

# ★この部会のよさ、vs 他の調達関係の会議体

## ◆コストパフォーマンスが良い。

V E 協会に、会社の部署で入会すれば代理出席可能 5 万円／年、個人名で入会すれば 1 万 2 千円／年（会社支払い可能）

## ◆ものづくり部会との連携によってバーチャル工場見学や新しい生産技術の見学会に（年 3 回程度）参加できる

## ◆調達の先進企業の話が聴ける

## ◆今回の配布資料は抜粋版だが、入会するとフルバージョン資料が入手可能

以上